

HALO レスピレータマスク

脱衣時の対応、洗浄・消毒リサイクル

京都府立医科大学麻酔科学
佐和貞治 制作
2021 年 1 月 23 日版

HALO レスピレータマスクの装着使用は比較的容易ですが、使用後、着脱時の手順と、その後の洗浄・消毒リサイクル処理には、注意深い対応が必要です。



写真 1: 中央手術室 5 階(麻酔科モニター室. HALO Mask リサイクルセンター)

3 つの部品、つまり 1)電動の本体部分、2) シリコンマスク、3) HE フィルタで構成されていますが、いずれも高価であり、一回使用で使い捨てというわけには行きません。

使用に先立ち、以下の手順を理解してください。

使った HALO マスクは、脱衣したら紫外線乾燥内に置いてある洗浄用のステンレスかご(小)を介助者にホールドして頂き、その中に落として、手洗い流しに置いておいてください。あとの洗浄や消毒・乾燥は、「特殊洗浄消毒部隊」が対応いたします。自分で

対応して、部品を捨てたり、水洗いしたりは、決してしないでください。

「使用者」が理解すること

【1】基本を理解してください。

①HALO レスプレーター本体と、②背部の HE フィルター、③シリコンマスク+ヘッドギアの3つに分けて対応する必要があります。



写真 2: HALO マスクは3つの部分で構成される。



写真 3: シリコンマスク+ヘッドバンド部分 写真 4: HALO 電動の本体部分 写真 5: HE フィルター

- HE フィルターは、一回の使用で捨てないでください（外部をワイプ消毒して再使用します、交換時期はレスプレーターで交換アラームが作動したときです）。
- シリコンマスク・ヘッドギアも捨てないでください（一個 2 万円以上しています）。水洗い洗浄・消毒して、再使用します。
- レスプレーター本体は、まず水洗いしますが、HE フィルターとシリコンマスクを外したあとで、マスク接続部 2 箇所と、HE フィルター装着部を洗浄用プラグで蓋をして、内部に水が入らないようにする必要があります。

【2】脱衣から洗浄への手順

1) レスピレータの脱衣:

COVID-19 レッドゾーンで装着した HALO マスクの外表部は、ウイルスで汚染しています。従って、脱衣時には、素手で外表面に触れたりしないようにする必要があります。

そこで、まず手袋をはめた状態で、

①まず手袋をアルコール消毒する。

②次に HALO マスクを、シリコンマスク部分の接続部位片側をレスピレータ本体から外して、頭部からレスピレータマスクを脱衣する。

③HALO マスク全体を、一旦、洗浄消毒済のステンレスかご(小)に落とす。その際、介助者に手袋をはめて頂き、かごをホールドしてもらえばよいでしょう。

写真は PE フィルターを外していますが、これは手袋装着の介助者にしてもらえばよいです。



写真 4: HALO マスク全体を洗浄用ステンレスかごに落とす。

あとの処理は、後日「洗浄消毒処理部隊」に任せてください。

④ この状態で、ステンレスカゴごと、「手洗い場の流し」に一旦、置いておいてください。あとは、翌日までに「洗浄消毒処理部隊」が対応します。

洗浄用のステンレスかごにマスク全体を入れて、御自分で水洗いしたりしないで、そのまま手洗い流しに置いておいてください。

このあとの洗浄プロセスは、「洗浄消毒処理部隊」(手術部と麻酔科で、対応を協議しておきます)が対応いたします。

「洗浄消毒処理部隊」の対応

以下、「洗浄部隊」の対応：手袋をはめて対応してください。外部にはウイルスが付着している可能性があります。

①HE フィルターをレスピレータ本体から外して、別の洗浄カゴに落としてください。HE フィルターは水洗いできません。外部を消毒ワイプで十分に拭いてから、乾燥・紫外線滅菌用の小型金属トレイに移してください。



写真 5: HE フィルタの外表面を十分に消毒ワイプ 写真 6: 乾燥・紫外線照射用の金属小型トレイに移す。

②レスピレータ本体からシリコンマスクをはずしてください。本体の3箇所(マスク接続部2箇所と、HE でフィルター接続部)に洗浄用プラグで蓋をしてください。



写真 7: 洗浄プラグを本体送気部にはめる。 写真 8: 洗浄プラグを本体背面の HE フィルタを外した部分にはめる。

- ③ シリコンマスク＋ヘッドギア付きと、洗浄用プラグで3箇所蓋をしたレスピレータ本体は、水道水蛇口流水で外表面を十分に水洗いしてください。

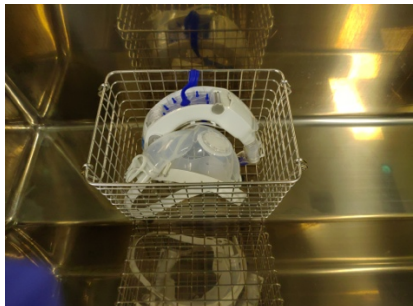


写真 9: 洗浄プラグで蓋をした本体部分の表面と、シリコンマスク＋ヘッドギア表面を水道水流水で洗浄する。

- ④ 次に、シリコンマスク＋ヘッドギア付き、と洗浄用プラグで3箇所蓋をしたレスピレータ本体は、消毒ワイプで外表面を十分に拭いてください。



写真 10: 本体部分やシリコンマスク外表面を除菌ワイプ消毒する

- ⑤ もう一度、水道水蛇口流水で外表面を十分に水洗いしてください。



写真 11: 水道流水でもう一度洗い流す

⑥ 紫外線乾燥保管庫にカゴごと入れてください。



写真 12, 写真 13, 写真 14: HE フィルタのトレイを本体＋マスクのステンレスかごにはめて、ステンレスカゴごと、乾燥・紫外線照射装置へ収納して、30 分のタイマーをセットして、乾燥、紫外線照射する。

⑦ タイマーを用いて、30 分の紫外線照射と温風送気乾燥してください。

写真のタイマーの 30 分のボタンを選択して押せば、30 分だけ電源が ON になって温風送気と紫外線照射されます。30 分以上、紫外線照射や温風乾燥を設定しないでください(本体が傷んでしまいます)。

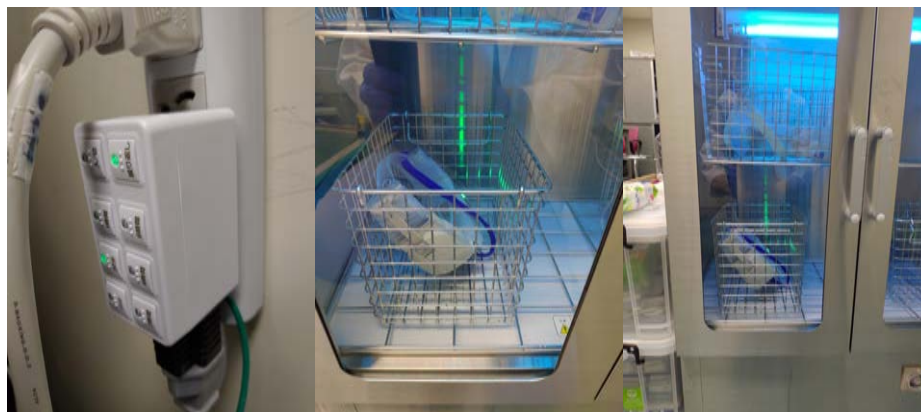


写真 15, 写真 16, 写真 17: タイマーの 30 分を選択して、温風乾燥＋紫外線照射する。

⑧ 紫外線照射乾燥できれば、再び充電サイクルにまわして、次の使用に向けて、充電をしておく必要があります。充電には、過充電をさけるためにタイマー充電を用いています。2 時間の充電で十分で 6 時間稼働します。タイマーにより自動で毎日午前 9 時から午前 10 時まで 1 時間だけ充電しますので操作は不要です。



写真 16. 写真 17: 乾燥・紫外線照射が終了すれば、外に出して、充電用プラグを接続して、タイマー充電へ

以上で、リサイクルプロセス完了です。